

とらい&GROW

2024年
2月号 NO.430
2024/2/1 発行

府中市郷土の森にて
(撮影 雨谷)

「助け合い、共感し、支援する地域の中で生きる」

年明け早々大変な能登半島大地震が発生した。「逃げてください、津波が来ます！！今すぐ逃げて！」の甲高い声が耳に残ります。それは切迫した声で迫りくる危険を予知するのに十分だった。とはいっても能登の冷たい夕刻、あたりはうす暗くなってくる。すぐには動けない……。

水が出ない。電気は停電。家は崩れ、道路は寸断。避難所の寒さは尋常でない。大きな余震はなお続く。家族の安否が気になる。どうもできない。そうこうしている間に夜が明ける。2日目の朝だ。

これがタワーマンションで起きた場合を考えてみみた。水が出ないだけでも大変だ。

停電ともなればマンション全体が機能不全に陥る。ここには能登のような「助け合い」はない。気持ちの共感も薄いだろう。いざという場合の支えになるのは人の寄り添いと分かり合いだろう。地域の中で生きる根本だと思う。

阪神淡路震災の時、東北大震災の時、熊本地震の時、そして今回の能登地震。日本列島はいつ起きても不思議でない地震大国である。何を置いてもまず、災害に向き合う気持ちを大切にしたい。

形あるものはいつか必ずなくなると。形あるものを日々追いかけて、私たちは日夜一所懸命だ。それでよいのではないか。求めて飽くなき人間だ。しかし形あるものは必ずなくなるということも改めて今回思いを新たにしたい。

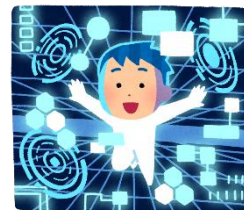
加えて日常の大切さを改めて知るところとなった。「助け合い」これが基本中の基本。ニッポンにはこれがある。ここを大切にしたい。若者はボランティアしたいとうずうずしている。私もできることを。否、できないこともちょっと無理して。

(宇久田 進治)

デジタルインボイスと Peppol(ペポル)

デジタルインボイスをご存知ですか？

2023年10月1日よりスタートしたインボイス制度、企業が導入後の新たに対応しなければならない事務負担の増加を懸念して、政府と民間企業団体が協議を開始し、インボイス制度の開始に向けて企業間(BtoB)でやり取りする請求書の完全なデジタル化、つまり「デジタルインボイスの導入」の検討を始めました。



デジタルインボイスとは・・・

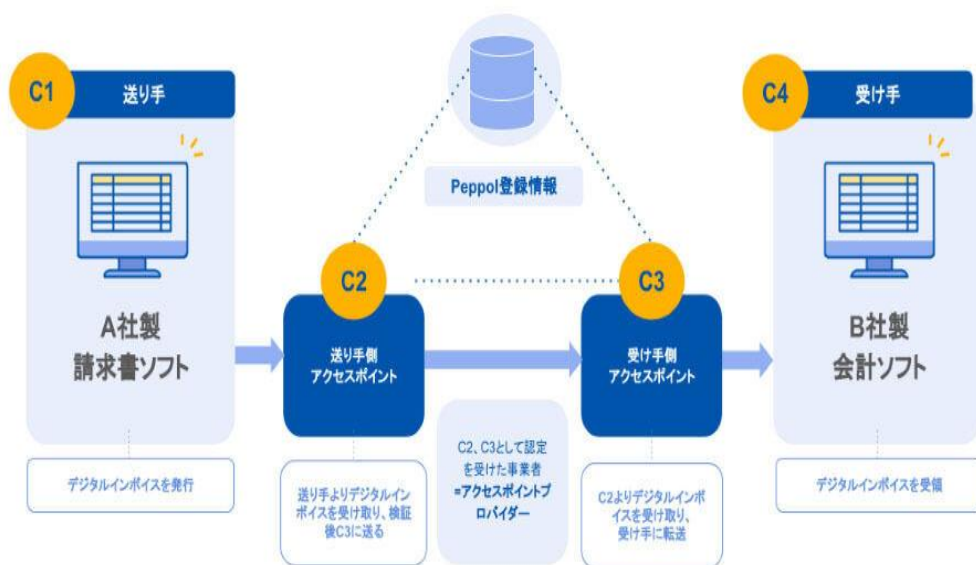
標準化され構造化された電子インボイスのことをいいます。

デジタルインボイスを活用すると、売り手のシステム(販売管理システム等)で作成した請求に関するデータが、買い手のシステム(会計システム等)に連携され、複数税率の計算や仕訳入力などの業務が自動で行われるようになります。また売り手側でも、自らが提供した請求にかかる情報を入力情報と結びつけたデータを受領することで、入金消込の自動化も可能になります。

「デジタルインボイス送受信」は請求書(インボイス)などの電子文書をネットワーク上でやり取りするためのグローバルな標準仕様である「Peppol(ペポル)」を採用しています。

Peppol(ペポル)とは・・・

請求書(インボイス)などの電子文書をネットワーク上でやり取りするための「文書仕様」「運用ルール」「ネットワーク」をグローバルな標準仕様にし、この共通ルールに基づき、各企業が使用する異なるソフトウェア・アプリケーション間でもやり取りが可能になります。



デジタルインボイスは、業務の自動化のみならず、改ざんの心配がないことや、適格請求書の保管・管理・検索が容易になること、グローバル標準で採用している国も多いので海外取引も国内取引と同様に対応できます。

インボイス制度がスタートしたばかりで、あまり一般的ではないデジタルインボイスですが、これからこのデジタル化の流れは大きくなっていくと思います。我々もまだ実務でデジタルインボイスに触れる機会がないので、対応できるように研究をしていきたいと思っています。



(業務支援事業班)

防災の事もう一度考えてみた

令和6年1月1日、名古屋。携帯電話の災害情報アラームが鳴る。その直後軽い横揺れ、数秒後、緊急地震速報のアラートが鳴り響くと共に大きな横揺れ、経験した事が無い程の長い揺れに、もしや南海トラフが頭の中を過ぎる。テレビのスイッチを入れると16時10分、石川県沖で地震発生、最大震度7。M7.6。津波警報発令。



能登半島地震

今回の能登半島地震では、1月22日現在233名の尊い命が奪われ、22名の方が行方不明になっています。1997年阪神淡路大地震と同様に建物倒壊により死亡された方が全体の約9割、被害建物数3万件以上、倒壊建物数については、未だに把握できない状況です。同じ震度でも一部の地域に建物の倒壊が多く見られ、そこでの死者数や被災者数も他の地域よりも多くなっています。

建物の倒壊を左右するものに、**地盤の軟弱度**が関係します。軟弱地盤は主に埋め立てられて作られた土地で、地震波の周期が長くなると、建物が倒壊し始めます。

もう一つは、**建物の耐震基準**です。最新の耐震基準は1981年新耐震基準、1978年宮城県沖地震を受けて改正された基準です。1981年6月1日以降に確認申請された、震度6程度の地震に耐える事が出来る家屋が、この新基準を満たしています。**適応された建物は阪神淡路大地震でも今回の地震でも被害が少なく、耐震家屋の重要性が再度注目されています。**



南海トラフ巨大地震

日本は地震の多い国です。今、日本で一番危惧されている地震は、南海トラフ巨大地震です。日本の東側、静岡県から九州地方に続く巨大な海溝を震源に将来発生する可能性が非常に高い巨大地震です。内閣府の想定では、M9以上、静岡県～宮崎県で震度7、その周辺地域は震度6、津波の高さは最大30m以上、関東地方でも10m以上、死者数32万人。文献によれば、この巨大地震は過去に9回発生しており、科学的に発生機序が明確になっている今では、確実に日本に襲い掛かる地震として注意が必要です。

私たちに何が出来るでしょうか？

大災害時に救助隊は現れない。今回の能登半島地震で再認識出来た事は、頼りになる救助隊は直ぐには来ない事、現れても簡単には救出出来ない事。例えば平時では十分に足りている消防隊でも、災害時にはまったく人手不足になります。

大災害を食い止める為には、初期段階ではより大きな災害現場に向かう事が大切です。**災害時の鉄則は自助、共助、公助の順番です。**まず、私たちは自分自身を守る事が大切です。今回の能登半島地震でも、もし家屋が倒壊しなければ、もし家具が倒れなければ、命が助かる事を証明しています。身を守り、小さな出火を消火出来れば助かる命が増えます。

次に共助です。皆で協力して周囲を見回し状況を判断する。消せる火は自分達で消す。倒壊した建物の下敷きになっている人がいれば、皆で瓦礫を取り除き助け出す。心肺停止なら胸骨圧迫、出血していたら止血、骨折をしていたら痛みを和らげる固定。

命を守るには共助が大切です。多くの方々が自助の為に防災グッズを揃え、転倒防止用器具で家具の固定を行っています。**これからは、共助の準備です。まずは、地域でのコミュニケーションです。誰がどこに住んでいるのか？高齢の方や幼い子、障害のある人が居ないか？災害発生時、自分に何が出来るのか？考える時です。**

(志村 賢一)

職員の座右の銘

最高道徳の格言『絶えず向上して終身努力す』

この格言は、生涯にわたって道徳的努力を続けていくことの大切さを述べたものです。何か志を抱き、一步踏み出すことはあっても、途中でその志を放棄し、努力をやめてしまう。何事も中途半端になってしまい、後悔をする。誰もが経験のあることだと思います。



こちらを道徳に置き換えますと前半生は道徳的に努力し、地位・名誉・財産を得ても、後半生に節制を欠き、人に対して無慈悲になってしまいます。

道徳的努力を生涯行わなければ、人々からも疎まれ、孤独で寂しい生涯を終えることになるのです。永続性・発展性・審美性を備えた真の幸福を実現するためには、学力・知力・金力・権力などの力も必要ですが、それらを正しく生かす高い品性を養うことが不可欠です。

社会的な地位が高まるにつれてそれにふさわしい分量の道徳を行い、人々の信頼に支えられて職務を果たし、最後まで事業を成し遂げましょう。

「継続は力なり」一切やめるのではなく、少しの努力でも継続し積み重ねていくこと。道徳的努力を続け品性という力を生涯高めていきたいと思えます。



(青木 友直)



確定申告の時期を迎えました。



申告時期を迎えます。いま各所から源泉徴収票や年金受領証など各種証明書が送られています。もれなく収集ください。不動産を売却された方、退職された方など申告が必要な方はご連絡を早めをお願いいたします。

そのほか相続や贈与のご相談もこの機会にどうぞ。

(宇久田 進治)

<湘南ビジネスサークルのご案内>

モラロジー観点で商売の在り方、商売の基本について学びを続けています。

次回以降の日程は・・・3/18(月) 5/16(木) 7/16(火) いずれも19:00から20:30まで藤沢ミナパーク会議室にて開催されます。

ご参加お待ちしております。ご希望の方事務所までご連絡ください！



所長・職員一同、みなさまからのご意見・ご感想をお待ちしております

発行・編集 宇久田進治税理士事務所/株経営センター
グロウ

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町 1-1-2

さわやか土曜塾

2/10(土)宇久田事務所にて開催予定！

★講師・・・牧野憲司講師

★時間・・・10:00～11:30

ご参加希望の方は、研修係り宛までご連絡下さい！



毎週日曜日 18時～18時29分 FM83.1

日曜日の夕暮れ時は、

『ざいつきげんの音楽鍋』でよいひと時を♪

